



発信課	社会教育部文化振興課市民文化会館
担当者	鈴木 圭一
連絡先	電 話 直通25-7331／内線6352
	F A X 0166-22-3526
	E-mail siminbunka@city.asahikawa.lg.jp

分 類	イベント・行事 <input checked="" type="checkbox"/> 募集 <input type="checkbox"/> 契約・入札 <input type="checkbox"/> 会議・説明会 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>
日 程	令和8年3月15日 14時00分 ~ 令和8年3月15日 15時20分
発表項目 (行事名)	第49回（令和7年度）旭川ななかまど文化省授賞式及び受賞記念イベントの開催について
概 要 (趣旨・日時・ 場所・内容等を 記入すること。)	第49回（令和7年度）旭川ななかまど文化賞授賞式及び受賞記念イベントの開催について（旭川市民文化会館協力事業） <授賞式（入場無料）> 日 時 令和8年3月15日（日）午後2時（開場 午後1時） 場 所 旭川市公会堂（旭川市常磐公園） 主 催 旭川ななかまど文化賞協議会（会長 井内 敏樹） 受賞者 2団体 ・ヴァイオリンデュオリュネット（音楽） ・旭川落語芸術協会（企画） <受賞記念イベント（観覧無料）> 日 時 令和8年3月15日（日）午後2時35分頃から 場 所 旭川市公会堂（旭川市常磐公園） 内 容 ・旭川落語芸術協による映像紹介 ・ヴァイオリンデュオリュネットのミニコンサート
添付資料	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
報道（取材）に当 たってのお願い	当日、取材する場合は、事前に旭川市民文化会館（0166-25-7331）まで御連絡願います。 また、授賞式や受賞記念イベント中の受賞者への取材は御遠慮願います。
備 考	旭川ななかまど文化賞受賞者の優れた文化・芸術作品を、どなたでも無料で観覧できますので、事前に広く周知をお願いします。



第49回(令和7年度)

旭川ななかまど文化賞 授賞式
及び 受賞記念イベント

令和8年3月15日(日)
14:00 (13:00開場)

旭川市公会堂

(令和7年度旭川市民文化会館協力事業)

旭川ななかまど文化賞とは

旭川市民文化会館が昭和50年2月2日に誕生したことが契機となり、市民で創る組織が、各種の優れた市民の文化芸術活動に対し、その功績をたたえるため、市民の有志が旭川ななかまど文化賞協議会を発足させ「旭川ななかまど文化賞」を創設しました。旭川ななかまど文化賞は、芸術・芸能等の分野で営々と研鑽を積み重ねている個人・団体を顕彰し、郷土旭川市の拠点性の向上や、香り高い豊かな文化都市となっていくことを期待して設けられたものです。

第49回(令和7年度)旭川ななかまど文化賞 受賞者プロフィール

ヴァイオリンデュオ リュネット (分野：音楽)



ヴァイオリンデュオリュネットは、2017年11月に、旭川フィルハーモニー管弦楽団のコンサートミストレスを務める加藤 夏恵氏とベルギーのオーケストラ等で活動していた溝田 令氏が、同じ小・中・高出身の縁から結成したヴァイオリンデュオで、名称のリュネットは、フランス語で眼鏡を意味する。

同デュオは、ヴァイオリンの演奏を通して、聴く人に音楽の良さや素晴らしさを伝えるとともに、生涯を通して音楽に親しみ愛好する心情を育み、幅広い年齢層への啓発に努めることを目的に活動しており、多方面からの依頼に応じて、旭川デザインウィークや旭川市中央図書館、井上靖記念館、旭川駅での天秘コンサート等で演奏を披露しているほか、シニア大学の講座や旭川市教育支援センターでのコンサートを継続開催するなど幅広い年齢層を対象に演奏活動を行っている。

今期は、令和7年1月の旭川市大雪クリスタルホールでの自主文化事業「冬休み子ども音楽講座『ヴァイオリンの音色とその秘密』」を皮切りに、期間中4回も市内の対象施設で地域に根差した活動を精力的に実施し、ヴァイオリンの演奏を通して本市における音楽の文化振興と発展に大きく寄与した。

なお、加藤氏と溝田氏は、ともに市内在住で、加藤氏は、昭和音楽大学卒業後、自宅で主宰するヴァイオリン教室を通じて幼児から大人まで幅広い世代に指導しているほか、旭川弦楽教育研究会講師、旭川医科大学室内合奏団トレーナーも務めており、一方の溝田氏は、東京音楽大学を首席で卒業後、ベルギー各地でソリストとして活躍し、帰国後は日本各地のオーケストラでも演奏者を務め、加藤氏同様、自宅でヴァイオリン教室を主宰し、後進の育成にも努められている。

旭川落語芸術協会 (分野：企画)

旭川落語芸術協会は、2000年8月に旗揚げ、質の高い落語会を可能な限り安価で開催し、日本の話芸である落語を通して「笑い」で楽しませ、地元を元気にするために設立された。以降、毎年プロの噺家を旭川に招き落語会を開催し若い世代の方々にも落語のすばらしさを体験してもらうべく、学生の無料招待も行っている。

同団体は、収益をすべて噺家に還元しており、運営は協会のボランティアで行っているのが特徴である。事の発端は、旭笑長屋(第27回旭川ななかまど文化賞受賞団体)がプロの落語家を招いたことに始まる。その後、旭笑長屋は素人落語会開催を主な活動とするようになったため、プロの噺家を招くために同協会を設立した。当初は、橋家富蔵(常呂出身)など北海道出身の噺家を招いていたが、2007年の第7回から毎年道内で落語会を開いていた柳家さん喬(現落語協会会長)を招くことに成功。柳家さん喬一門との強い絆を築きながら、多種多彩なプロの噺家を招き、数多くの落語会を開催してきた。今期は、落語会を3回企画。柳家喬太郎独演会を皮切りに、落語教育委員会(柳家喬太郎、三遊亭歌武蔵、三遊亭兼好、柳家やなぎ)、柳家さん喬独演会を企画し、落語文化の普及・啓発に大きく寄与した。なお、柳家さん喬師匠とその一番弟子である柳家喬太郎師匠の落語会は、昼席・夜席の2回とも3席が披露される旭川だけの特別な内容となっており、非常に希少価値の高いものとなっている。



受賞記念イベント (入場無料)

授賞式終了後、旭川落語芸術協会と縁の深い柳家さん喬師匠(現落語協会会長)からのビデオレターやヴァイオリンデュオリュネットによる美しい音色のミニコンサートが披露されますのでぜひお楽しみください。

《旭川落語芸術協会》(14:35頃～)

- ・柳家さん喬師匠からのビデオレター
- ・協会の活動風景の紹介など

《ヴァイオリンデュオ リュネット》(14:50頃～)

- ・ミニコンサート(演奏曲説明あり)
- G線上のアリアなど 演奏予定

会場：旭川市公会堂

(旭川市常磐公園内)

周辺駐車場は、常磐公園にある施設で共有の駐車場です。台数に限りがありますので、お越しの際は公共交通機関などをご利用ください。

